

保護者の皆様

練馬区立開進第二小学校
校長 椿田 克之

令和6年度学力調査報告

本年度の「全国学力・学習状況調査」（6年生）について、調査結果をお知らせいたします。

※全国の結果と比較して、5ポイント以上上回っているものに◎、上回っているものに○を付けています。

(1)国語 平均正答率 (%)

区分	学習指導要領の領域						評価の観点		全体
	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	
	言葉・使い方	情報	言語文化	話す・聞く	書く	読む			
開二小	◎73.7	◎93.4	○78.9	○61.0	◎75.0	○75.4	◎77.9	○69.9	◎73
東京都	67.9	88.8	75.3	63.9	69.9	71.9	72.6	68.4	70
全国	64.4	86.9	74.6	59.8	68.4	70.7	69.8	66.0	67.7

【分析】

○平均正答率がどの領域、観点においても全国を上回っています。
 ○特に学習指導要領の領域では、知識及び技能の「言葉・使い方」、思考力・判断力・表現力等の「書く」で、全国の平均を10ポイント以上上回っています。
 →宿題に漢字学習を取り入れたり、音読を取り上げたり、読書旬間以外に週1回読書感想文の宿題を出したりしていたことで、本を読む機会が増えていることが書く力の向上につながっていると考えられます。
 ▲学習指導要領の領域では、思考力・判断力・表現力等の中で「話す・聞く」に関する内容が61.0%と低く、話す・聞くことを苦手としている児童が多いことが分かりました。
 →学習では、目的をもって話す・聞く活動を取り入れ、話す活動を増やし、工夫したりするなど、児童が考え、工夫をしながら話す・聞く活動に取り組めるようにしていきたいと思えます。そして児童の話し合いの目的を明確に示すことで、聞き取るべき事柄を予想させたり、判断させたりすることができ、必要な情報を聞き取らせることができます。授業の中で、こうして、聞き取らせた情報やその他の資料を関連づけることを通して自分の考えをもたせる場面を多く設定し、指導を進めていきます。

(2)算数 平均正答率 (%)

区分	学習指導要領の領域					評価の観点		全体
	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	
開二小	◎76.5	◎78.9		◎68.9	◎73.4	◎83.5	◎65.8	◎76
東京都	70.6	70.8		59.3	65.2	76.7	57.1	68.0
全国	66.0	66.3		51.7	61.8	72.8	51.4	63.4

【分析】

○平均正答率がどの領域、観点においても全国を10ポイント以上上回っています。
 ○特に学習指導要領の領域では「変化と関係」、評価の観点としては「思考・判断・表現」の観点で全国のデータを15ポイント程度上回っています。
 →算数の習熟度別少人数指導では、事前に児童の実態に応じた問題を設定したり、学習形態を工夫したりして、指導を行っています。また、基礎・基本の習熟に努めています。それらがこの結果にもつながっていると考えますので、今後も、継続して取り組んでいきます。また、多様な学び方ができるよう、授業改善を図っていきたく考えています。

